

令和7年度 学校経営計画書及び自己評価計画書

石川県立金沢泉丘高等学校（通信制課程）

学校長 岡 橋 勇 侍

1 教育目標

心身一如の発達につとめて

真理を求め、勉学を第一義とすること

情操を豊かにし、自らの品位を高め、他者的人格を重んずること

正義を愛し、誠実にして、社会から信頼されること

2 中・長期的目標

様々な事情により本校を学びの場として選択した生徒たち一人ひとりが、みずから時間管理に努め、レポート提出などやスクーリングの参加を積み重ねることで、学びの楽しさを見つけるとともに、自己肯定感を高める。また、生徒会活動などの場に一人でも多くの生徒が参加・参画することで、協働する喜びを感じるとともに、コミュニケーション能力を高め、ひいては社会の一員としてしっかりと行動する力を培う。本校通信制教員からなる「チーム泉丘通信制」は、これらのこと、かけがえのない生徒一人ひとりに寄り添いながら推し進めていく。

(1) 学校の現状

- ① 近年の通信制を取り巻く環境は著しく変化し、様々な入学動機や学習歴をもつ生徒が通う学校となっている。とりわけ増え続けている不登校経験者への対応は主課題の1つである。
- ② 生徒の年齢層に幅はあるが、活躍生の中心は10代の生徒であり、近年85%前後で推移している。
- ③ 4月の新入、転入、編入生に加えて、9月の転入生も年々多く、転編入生数は活躍生の6割強を占めている。
- ④ 入学はするが、途中で学習を継続できない不活躍生が依然として多く、進路が定まらないまま卒業する生徒も多い。また、活躍生においても基礎学力が定着しておらず、単位の修得が困難な生徒もいる。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① GIGAスクール構想を踏まえ、学習意欲を喚起し計画的な学習に努める力を育成し、ICTを活用した面接指導（スクーリング）や基礎学力を伸ばすための有効な報告課題（レポート）の研究や開発を行う。
- ② 豊かな個性、心を持ち、生涯にわたって自ら学び、変化の激しい社会に適応し、たくましく生きる力を育成する。また防災をはじめとする生命の尊さを体験する場を提供し、自己肯定感や他者を思いやる精神の陶冶を推進していく。
- ③ 進路ガイダンスを充実させ、進路意識の高揚を図り、個々の適性と能力に応じたキャリア教育を推進する。

(3) 教職員・学校組織等の望ましい在り方

- ① 面接をはじめ生徒との関わり方など教職員個々の教育力を充実させるとともに、通信制教育の問題点を共通認識し、教育目標の具現化を協働的に推し進め計画的、継続的に実施していく。
- ② 各分掌を機能的・効率的に運営し組織的な取組を行い、教職員がワーク・ライフ・バランスを維持していく。これにより教職員の視野を広げ、生徒対応にかかる指導の引き出しを増やしていく。

3 今年度の重点目標

- ① 家庭の理解と協力を得ながら個に応じた生徒への学習支援を進め、報告課題の提出状況や出席日数の改善を図るとともに、単位の修得率を上げる。
- ② 学校における日々の学習や生徒会活動などを通して、基本的生活習慣の確立と規範意識の高揚、自他の生命を尊重する態度の育成を図る。
- ③ 生徒一人一人の生活状況を様々な方法でより把握し、教職員間で共有することにより、組織的に支援する体制をつくる。
- ④ 各種業務の平準化と効率化を図り、ワーク・ライフ・バランスを実現する。
- ⑤ ICTを活用した連絡体制を整えるなどして、レポートの提出や学校行事への参画に対する意識を高めていく。これにより、生徒の自己肯定感を高めるとともに、卒業後の生き方を考えさせ、生徒の能力・適性を踏まえた進路指導やキャリア教育を進めていく。